

福岡県で我が国初の「非定型スクレイピー」が発生しました

◆ 発生状況

福岡県で平成 28 年 3 月下旬に死亡しためん羊 1 頭（コリデール種、11 歳）について、検査の結果「非定型スクレイピー」と診断されました。当該めん羊はすでに焼却処分され、同県内の他のめん羊に異常がないことが確認されています。

◆ 「スクレイピー」とは

- 「スクレイピー」は、異常プリオンたんぱく質を原因とするめん羊・山羊の「伝達性海綿状脳症（TSE）」として「家畜伝染病（法定伝染病）」に指定されています。
- 「スクレイピー」は大きく分けて「定型」と「非定型」の二種類が存在します。どちらも人には感染しないと考えられています。
- 「定型スクレイピー」は旋回などの神経症状や、かゆみのために壁などに体をこすりつける異常行動が認められます。
- 今回発生があった「非定型スクレイピー」は、これまで国内で発生が確認されている「定型スクレイピー」とは臨床症状等が異なり、かゆみの症状は伴わないとされています。伝染性はなく、老齢のめん羊・山羊で自然発生することが知られています。

飼育しているめん羊・山羊に異常がみられた場合、
かかりつけの動物病院か家畜保健衛生所にご相談ください

神奈川県県央家畜保健衛生所

本所 〒243 - 0417 海老名市本郷 3 6 5 8

電話：(046)238-9111 ファクシミリ：(046)238-9124

東部出張所 〒226 - 0015 横浜市緑区三保町 2 0 7 6

電話：(045)934-2378 ファクシミリ：(045)934-5432

